

平成 31 年 1 月 10 日  
福岡市保健福祉局  
健康先進都市推進担当

福岡市政記者各位

## 介護現場の課題を解決するスタートアップ企業と 介護事業者のマッチングイベントを開催します

人生 100 年時代を見据えた持続可能な社会をつくるプロジェクト「福岡 100」では、介護現場における負担軽減や人材不足解消などといった介護分野の課題と、スタートアップ企業の多彩なアイデアや技術を結び付け、解決につなげていく取り組み「ケアテック推進コンソーシアム(以下、「コンソーシアム」という)」事業を、昨年 10 月からスタートしています。

この度、コンソーシアムに参画する介護事業者と、介護現場の課題を解決できるスタートアップ企業との、「マッチングイベント」を下記の通り開催します。告知・取材にご協力いただきますようお願いいたします。

### 記

- 1.内 容：第 1 部 スタートアップ企業によるソリューション案のプレゼンテーション  
第 2 部 ソリューション案の試行に向けたスタートアップ企業と介護事業者のマッチング会
- 2.日 時：平成 31 年 1 月 11 日（金）16 時～（受付開始は 15 時半～）
- 3.会 場：Fukuoka Growth Next イベントスペース（福岡市中央区大名 2 丁目 6-11）
- 4.主 催：ケアテック推進コンソーシアム(事務局：福岡市)
- 5.参加費：無料（コンソーシアム HP より申込 <https://caretech.fukuoka.jp/presentation2019/>）
- 6.登壇予定スタートアップ企業：

有限会社 S O T R Y /uzuram 株式会社/三和コムテック株式会社/  
Abstract 合同会社/歯っぴー株式会社/株式会社アドバンスト・メディア/  
The Harmony Inc. (ザ・ハーモニー株式会社) /株式会社リンクジャパン 計 8 社

以上

#### お問い合わせ先

##### ■プレゼンテーションイベントに関すること

ケアテック推進コンソーシアム事務局(受託運営事業者：株式会社 D A N)

担当：段野・加藤 TEL: 092-472-0700 FAX:092-481-1759

メールアドレス: [contact@caretech.fukuoka.jp](mailto:contact@caretech.fukuoka.jp)

##### ■「福岡 100」プロジェクトに関すること

保健福祉局健康先進都市推進担当

担当：木本・吉田 TEL:092-711-4543（内線 2056） FAX:092-733-5587

## 登壇予定企業・事業概要

(掲載は発表順)

### (1) 有限会社SOTRY

「簡単に使える人材育成ツール」

ビデオを利用した社内情報共有システム、在宅でLIVE授業を受信できる教育システムやAIを活用した新人へのアドバイスを行うシステムなどにより人材育成を支援。

### (2) uzuram 株式会社

「介護の人材不足解消」

介護の人材不足解消のため、ITを活用したチャットサービスによって、介護施設と働き手のマッチングを行い、短期～長期での新しい雇用の仕組みを構築するマッチングプラットフォームサービス。

### (3) 三和コムテック株式会社

「ロボットツール(RPA)とコミュニケーションツールを活用した業務効率化」

パソコン上で手作業で繰り返し行う定形業務を最新技術によって自動化(RPA)。誰でも簡単に使え作成することができるRPAを活用することで、1.定形業務からの開放、2.時間短縮、3.間違いの削減、4.現場のコミュニケーションを簡単・効率的に実現する。

### (4) Abstract 合同会社

介護記録が苦痛からワクワクになる「Notice」

QRコードを活用した介護記録システム。QRコードをスマホで撮影することで、利用者の記録ページに移動し、介護記録を簡単に入力可能。現場の記録業務負担を大幅に軽減できる。

### (5) 歯っぴー株式会社

「口腔ケアを効率化した口腔ケアシステム」

口腔機能加算算定を可能にする口腔ケアシステム。口腔の状態を簡単に歯ブラシから撮影することが可能。口腔状態などの「状態」を記録することができ、手間を解消する。

### (6) 株式会社アドバンスト・メディア

「音声入力による介護記録等の作成と情報共有」

介護分野の専門用語の高い音声認識精度により、入力時間削減を実現。クラウド型音声認識の実用性/介護記録等作成の生産性/外国人職員における音声認識の有用性の実証を行う。

### (7) The Harmony Inc. (ザ・ハーモニー株式会社)

「AIを活用した認知症コミュニケーションロボット"コモモン"」

持続的な会話ができるAIを活用した認知症コミュニケーションロボット"コモモン"を開発。認知症の悪化防止、ケアをする看護師・介護士の精神的負担の軽減など、介護事業所の労働生産性を向上させる。

### (8) 株式会社リンクジャパン

「eMamo サービス@AI 転倒探知センサー」

赤外線サーモグラフィセンサー+独自のAI技術で、夜間だけでなく24時間体制で、居室内での転倒を検知し関係者へ通知。開発中の体温センサーや心拍などを取れるマットセンサー、位置情報センサーを組み合わせることで、入居者をあらゆる方面で見守ることができ、施設側の負担とリスクが軽減できる。